

研究主題

人にも自然にもやさしい児童の育成 ～持続可能な地域社会の構築を目指すカリキュラム・マネジメントを通して～



はじめに

校長 柳沢 晶子

本校は、令和元・2・3年度中野区教育委員会「学校教育向上事業」研究指定校として、「人にも自然にもやさしい児童の育成」を研究主題に、「持続可能な地域社会の構築を目指すカリキュラム・マネジメントを通して」を副主題に据え、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の研究に3年間取り組んでまいりました。昨年度から全面実施となった現行の学習指導要領に「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されたことを受け、ESDはSDGs達成のための教育として一層の推進が求められています。本校は、SDGs達成の担い手となる児童に必要な資質・能力を育成するために、学校の特色を最大限に生かす教育活動を目指し、研究を進めました。

3年次となる今年度は、SDGsの視点から教育活動全体を捉え直すと共に、地域を核とした総合的な学習の時間の単元開発を行い、これを中心としたカリキュラム・マネジメントとその実践を通して、研究主題に迫ることができるよう取り組みました。

ESDに取り組めば取り組むほど、その重要性や奥深さを実感し、いまだ研究の途上ではありますが、これまでの研究をまとめ、発表させていただきます。ご覧いただき、ご指導、ご助言をいただければ幸いに存じます。

本校の研究にご協力いただきました地域・関係諸機関の皆様、懇切丁寧なご指導をいただきました前江東区立八名川小学校校長 手島 利夫先生をはじめ講師の方々、中野区教育委員会、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



中野区立中野本郷小学校

住所：中野区本町4丁目27-3

電話番号：03(3381)7255／ファクシミリ：03(3381)7256

ESD の全体計画

本校の教育理念

人にも自然にもやさしい
中野本郷小の子

自然を愛する心と
人間尊重の精神を基に
未来を切り拓く力を育み
心身ともに健やかな
児童の育成を図る

教育目標

・げんきな子 ◎かんがえる子 ・たすけあう子

研究テーマ

人にも自然にもやさしい児童の育成

ESD の 目 標

現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、それによって持続可能な社会を創造する。

学習指導要領 前文

これからの学校には(中略)一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

ESD を通じて身に付けたい力

批判的に考える力	未来像を予測して計画を立てる力	多面的、総合的に考える力	コミュニケーションを行う力	他者と協力する態度	つながりを尊重する態度	進んで参加する態度
批判 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力	未来 過去や現在に基づき、あるべき未来像(ビジョン)を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力	多面 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり(システム)を理解し、それらを多面的、総合的に考える力	伝達 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力	協力 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度	関連 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度	参加 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を理解するとともに、ものごとに主体的に参加しようとする態度

SDG s の視点からの取組

重点目標：People（人間）、Planet（地球）、目標 11 住み続けられるまちづくり

People（人間）	Prosperity（豊かさ）	Planet（地球）	Peace（平和）	Partnership（パートナーシップ）
貧しさを解決し、健康に   	経済的に豊かで安心して暮らせる世界に   	自然と共存して、地球の環境を守る    	争いのない平和を知ることから実現 	みんなが協力し合う 

問題解決的な学習の推進

各教科等の見方・考え方を働かせ、課題解決を図る取組を推進するために、自分にできることを考える。

ESD カレンダー作成のための方針

- 本校の教育理念「人にも自然にもやさしい中野本郷小の子」に基づき「人」と「自然」の2つの視点で、全教科・領域でカリキュラム・マネジメントを推進する。
- 学習の過程において課題解決のために必要な技能を「学習スキル」とし、技能を習得する単元をESD カレンダーの中に明記する。

授業改善に向けた取組

教科等横断的な視点による
組織的な取組

外部人材や
地域資源等の活用

学習指導要領 総則改訂の要点

研究構想図

研究主題

人にも自然にもやさしい児童の育成

～持続可能な地域社会の構築を目指すカリキュラム・マネジメントを通して～

目指す児童像

自ら考え実践し、地域社会の一員として行動できる子

【低学年】

地域：身近→学校周辺

- ・自然や地域に関心を持ち、自分たちの生活を支えてくれる人の存在に気付ける子

【中学年】

地域：中野区→東京都

- ・地域の役割や身近な課題を理解し、自分たちにできることを考えられる子

【高学年】

地域：東京都→日本・世界

- ・地域社会の一員であることを自覚し、現代の様々な課題について自ら考え、その解決策を実践できる子

研究の仮説

教育活動を「人にもやさしい」「自然にもやさしい」というキーワードの下、①SDGsの視点から捉え直し、②外部人材や地域資源等を積極的に活用し、③問題解決的な学習や追究活動を行うことで、現代社会の課題に気づき、地域社会の大人が果たしている役割を理解し、自分たちの役割を見つけ行動できる児童が育つだろう。

研究の視点①

SDGsの視点に立った単元開発

研究の内容①

- ・SDGs実践表の作成
- ・年間指導計画の見直しと単元開発（生活科・総合的な学習の時間）
- ・ESDカレンダーの作成

研究の視点②

外部人材・地域資源等の活用

研究の内容②

- ・外部人材・地域資源リストの作成
- ・外部人材・地域資源を活用した授業の実践（オンライン含む）

研究の視点③

問題解決的な学習の実践

研究の内容③

- ・授業展開やノート指導の統一
- ・タブレット端末の活用
- ・「生かす」過程を重視した、授業改善

日常における取組

- ① SDGsに対する興味関心を高めるための、校内掲示の工夫や特別活動における取組
- ② 自然に対する興味関心を高めるための、教材園（グリーンガーデン）を活用した体験活動
- ③ 追究活動促進のための、ICT整備や関連図書の整備等の、学習環境づくり

日常の取組

① 特別活動・校内掲示

SDGs に対する興味関心を高めることを目指した取組

SDGs を意識した委員会活動

活動例

委員会	SDGs	取組内容
代表	1,2,3,4,6	ユニセフ集会とユニセフ募金
集会	4,17	SDGs をテーマにしたクイズ集会
理科栽培	15	環境保護の取組発表
図書	1,2,8,13	SDGs に関わる新聞記事スクラップ作成
保健	6	毎日の水質検査
給食	2	食品ロスについての集会
体育	3,4	体力向上月間推進



SDGs と関連させた掲示物



学習したことを、研究主題や SDGs と関連させて掲示物にまとめました

学習以外の活動も SDGs と関連させて意識を高めています



② 自然教材園の活用

自然に対する興味関心を高めることを目指した取組

植物の栽培や観察

各学年の畑の作物例

学年	作物
1 年	サツマイモ
2 年	トマト、キャベツ
3 年	大豆、ダイコン
4 年	江戸東京野菜
5 年	米、インゲンマメ
6 年	ジャガイモ



水田では合鴨農法



昆虫や魚など生き物観察



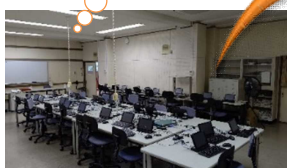
チョウやバッタ、カマキリなどの昆虫や、カエルやメダカなど水辺の生き物がいます

③ 学習環境づくり

追究活動促進を目指した学習環境整備

PC 室のリニューアル

一人1台端末導入で PC 室の利用率低下



調べ学習室としてリニューアル



SDGs 関連図書の購入

※購入図書は右ページ参照

リニューアルのポイント

- 既存の児童用 PC は印刷用のみ設置
- グループ学習用の大テーブル設置
- 書架と調べ学習用図書を設置

SDGs おすすめ図書リスト

本校の図書室蔵書の一部をご紹介します。凡例：「書籍名」（著者名/出版社名）

目標4 質の高い教育を全てのの人に		SDGsの視点に立った単元開発 外部人材・地域資源等の活用 問題解決型学習の実践	
「池上彰のニュースに登場する世界の環境問題」シリーズ（池上彰/さ・え・ら書房）			
1 貧困をなくす 目標1 貧困をなくす 「もったいないばあさんと 考えよう 世界のこと」 （真珠真理子/講談社） 「すごいね！みんなの通学路」 （ローズ・マリー・マカーニ/西村書店）	2 飢餓をゼロに 目標2 飢餓をゼロに 「もったいないばあさんの いただきます」 （真珠真理子/講談社）	3 健康と福祉 目標3 健康と福祉 「せんねん まんねん」 （まど・みちお/理論社） 「あなたがうまれたひ」 （デブラ・フルジャー/福音館書店）	5 ジェンダー平等 目標5 ジェンダー平等 「マララさんこんにちは 世界でいちばん勇敢な少女へ」 （ローズ・マリー・マカーニ/西村書店）
6 安全な水とトイレ 目標6 安全な水とトイレ 「トイレをつくる 未来をつくる」 （会田法行/ポプラ社） 	7 エネルギーをみんなに 目標7 エネルギーをみんなに 「風の島へようこそ」 （アラン・ド・ラモント/福音館書店） 「太陽と光しよくばいものがたり」 （藤嶋昭/偕成社）	8 働きがいと経済成長 目標8 働きがいと経済成長 「なぜ僕は働くのか」 （佳奈/学研プラス） 	9 産業と技術革新 目標9 産業と技術革新 「まるごと日本の世界遺産」 （増田明代/講談社） 
10 人や国の不平等をなくす 目標10 人や国の不平等をなくす 「ぼくのものごたり あなたのものごたり」 （ジュリアス・リスター/岩崎書店） 「世界中のこどもたちが」 （新沢としひこ/ポプラ社） 「くうき」 （まど・みちお/理論社） 	11 住み続けられるまち 目標11 住み続けられるまち 「特別授業 3.1 君たちはどう生きるか」 （あさのあつこ他/河出書房新社） 「ぼくの街に地震がきた」 （名古屋裕/ポプラ社） 「つなみてんでんこ」 （指田和/ポプラ社） 「町のけんきゅう」 （岡本信也・靖子/福音館書店） 「子どものための防災 BOOK」 （夏緑/童心社）	12 つくる責任つかう責任 目標12 つくる責任つかう責任 「ふろしき大研究」 （宮井株式会社/PHP 研究所） 「もったいないばあさん」 （真珠真理子/講談社） 	13 気候変動対策 目標13 気候変動対策 「地球はえらい」 （香原知志/福音館書店） 「今森光彦の里山さんぽ図鑑」 （今森光彦/世界文化社） 「ぼくは46億歳。」 （豊田充穂/学研教育出版） 「空と天気ふしぎ109」 （森田正光/偕成社） 「まるごと日本の季節」 （榎本好宏他/学習研究社） 「地球のスイッチ」 （世界一小さなエコ会議 /スペースシャワーネットワーク）
14 海の豊かさ 目標14 海の豊かさ 「海は生きている」 （富山和子/講談社） 「いのちあふれる海へ」 （クレア・ニコラ/福音館書店） 	15 陸の豊かさ 目標15 陸の豊かさ 「森はだれがつくったのだろう？」 （ウィリアム・ジャズ・ソ/童話屋） 「桜守のはなし」 （佐野藤右衛門/講談社） 「あめがふるとき ちようちよはどこへ」 （レナ・ワイスガード/金の星社） 「クマよ（たくさんのふしぎ傑作集）」 （星野道夫/福音館書店）	16 平和と公正 目標16 平和と公正 「私はどこで生きていけばいいの？」 （ローズ・マリー・マカーニ/西村書店） 	17 パートナーシップ 目標17 パートナーシップ 「いっぼんの鉛筆のおこうに」 （谷川俊太郎/福音館書店） 

※書籍とSDGsの関連付けは、本校による一例です。

研究の内容と方法

研究の視点① SDGs の視点に立った単元開発

SDGs 実践表の作成



全学年/全教科/全単元を見直し SDGs
と関連する単元を一覧表に整理
(詳細は右ページ参照)

新単元の開発 (総合的な学習の時間)

開発単元例

3年	人にやさしいまちを目指して
4年	ごみゼロ大作戦
5年	まちのよさを知ろう 伝えよう
6年	まちの未来を見据えて

「自ら考え実践し、地域社会の一員
として行動できる子」を目指した
核となる単元を新たに開発

ESD カレンダーの作成



「人にやさしい」「自然にやさしい」
をキーワードにカリキュラム・マネ
ジメントし、ESD カレンダーを作成

研究の視点② 外部人材・地域資源等の活用

人材・資源リストの作成

教科等	単元等・題材名	外部人材・地域資源等	内容
社会	店ではたらく人	ザミット 緑橋店 店長	お店の仕事について話を聞く
社会	農家の仕事	松本農園 (中野区大和町) JA東京中央信託事業部	農家の仕事について話を聞く
社会	火事からくらしを守る	中野消防署、消防団	消防の仕事について話を聞く
社会	事故や事件からくらしを守る	中野警察署	警察の仕事について話を聞く
社会	中野区のつくりかたやとくをくらし	中野歴史民俗資料館	中野区の歴史について学ぶ
国語	からくり探検づくり	東京都職業能力開発協会	職人さんの指導で巻物制作をする
総合	人にやさしいまちを目指して	宮前町会、緑橋町会	町会の役割について話を聞く

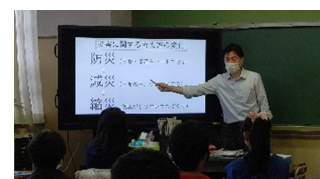
過去にお世話になった外部人材や、活用
してきた地域資源をリスト化しデータ
ベースとして活用

新たな人材・資源の発掘



新単元を中心に、新たな外部人材や
地域資源を発掘し、作成したリスト
をアップデート

授業の実践



効果的な学習となるよう、事前に綿
密な打ち合わせを実施し、内容や方
法、場面などを吟味の上、実践

研究の視点③ 問題解決的な学習の実践

学びに火をつける導入の工夫



「つかむ (課題設定)」過程で、単元を
貫いて学ぶ意欲をもてるよう、資料や
提示方法を工夫

タブレット端末の活用



「調べる (情報収集・整理・分析)」「
まとめる (発表)」過程で、発達
段階に応じた活用方法を工夫

「生かす」を重視した展開



学習を自分事として捉え、地域社会
の一員として行動できることを目指
した「生かす」過程の工夫

SDGs実践表

目標4 質の高い教育を全てのの人に		 4 質の高い教育を みんなに	SDGsの視点に立った単元開発 外部人材・地域資源等の活用 問題解決型学習の実践	
 目標1 貧困をなくす	 目標2 飢餓をゼロに	 目標3 健康と福祉	 目標5 ジェンダー平等	
4年 国語 ランドセルは海をこえて 6年 社会 世界の未来と日本の役割	5年 総合 米米大作戦 5年 社会 暮らしをささえる食料生産 5年 社会 水産業のさかんな地域 6年 社会 世界の未来と日本の役割	2年 生活 ときどきわくわくまちたんけん 3年 保健 健康な生活 4年 国語 思いやりのデザイン 4年 社会 ごみの処理と再利用 4年 総合 地域とユニバーサルデザイン 5年 保健 けがの防止 6年 保健 病気の予防	4年 国語 だれもが関わり合えるように 4年 保健 体の発育と発達	
 目標6 安全な水とトイレ	 目標7 エネルギーをみんなに	 目標8 働きがいと経済成長	 目標9 産業と技術革新	
4年 社会 水はどこから 4年 社会 玉川兄弟と玉川上水	1年 生活 なつがやってきた 2年 生活 うごくうごくわたしのおもちや 6年 理科 私たちの生活と電気	5年 社会 工業生産と工業地域	2年 生活 うごくうごくわたしのおもちや 4年 国語 世界にほこる和紙 4年 社会 染め物のさかんな新宿区 5年 社会 工業生産と工業地域	
 目標10 人や国の不平等をなくす	 目標11 住み続けられるまち	 目標12 つくる責任つかう責任	 目標13 気候変動対策	
4年 総合 柳だ・ツバ・リンド・ツから学ぼう 6年 社会 日本とつながりの深い国々	1年 生活 がっこうだいすき 2年 生活 ときどきわくわくまちたんけん 3年 社会 火事から暮らしを守る 3年 総合 人にやさしいまちを目指して 4年 社会 地震から暮らしを守る 4年 総合 調べて、育てよう 5年 社会 情報産業とわたしたちの暮らし 5年 総合 わたしたちのまち再発見 6年 社会 わたしたちの願いを実現する政治 6年 総合 まちの未来を見据えて	2年 生活 うごくうごくわたしのおもちや 4年 総合 ごみゼロ大作戦 4年 社会 ごみの処理と再利用 4年 社会 他地いきや世界とつながる東京都 5年 社会 工業生産と工業地域 5年 総合 米米大作戦	3年 総合 エコチャレンジ 4年 総合 ごみゼロ大作戦 5年 社会 わたしたちの生活と森林 5年 社会 自然災害を防ぐ 6年 社会 環境を守る私たち 6年 道徳 愛華さんのメッセージ	
 目標14 海の豊かさ	 目標15 陸の豊かさ	 目標16 平和と公正	 目標17 パートナーシップ	
4年 国語 ウナギのなぞを追って 4年 社会 ごみの処理と再利用 5年 社会 水産業のさかんな地域 6年 道徳 愛華さんのメッセージ	1年 生活 きれいにさいてね 1年 生活 たのしいあきいっぱい 1年 生活 いきものと なかよし 2年 生活 ぐんぐんそだてわたしの野菜 3年 社会 はたらく人とわたしたちの暮らし 4年 国語 プラタナスの木 4年 社会 ごみの処理と再利用 4年 総合 調べて、育てよう 5年 社会 米作りのさかんな地域 5年 総合 米米大作戦 6年 理科 植物の成長と日光の関わり 6年 道徳 愛華さんのメッセージ	3年 国語 ちいちゃんのかげおくり 4年 総合 柳だ・ツバ・リンド・ツから学ぼう 6年 社会 わたしたちの願いを実現する政治 6年 社会 世界の未来と日本の役割	3年 国語 まいごのかぎ 4年 国語 ランドセルは海をこえて 5年 総合 わたしたちのまち再発見 6年 社会 世界の未来と日本の役割	

第1学年の取組

目指す児童像

自然や地域に関心を持ち、自分たちの生活を支えてくれる人の存在に気付ける子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	えんぴつとなかよし こんなものみつけたよ	かきとかぎ ぶんをつくろう	ねことねこ わけをはなそう	おばさんとおばあさん おおきくなった	は・を・へをつかおう すきなもののなかに こえにだしよもう	うみのかくれんぼ えにつきをかこう	かたかなをかこう ともだちのことしらせよう	ものの名まえ てがみでしらせよう	こえに出してよもう ききたいなともだちのはなし	ことばを見つけよう	いいこといっぱい 一年生
算数											
生活	がっこうだいすき	なつがやってきた	きれいにさいてね さつまいもをそだてよう	いきものとなかよし	たのしいあきいっぱい	じぶんでできるよ	ふゆをたのしもう	もうすぐ2年生			
音楽										みんなであわせて	
図画工作		はたらく消防の写生会									こころのはなをさかせよう
体育											
道徳科	ようこそ一ねんせい	がっこうにはね	ばくのおさがお	ハムスターのあかちゃん			かやねずみのおかあさん		ええところ		

【外部人材・地域資源リスト】 ●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●生活	なつがやってきた	本五ふれあい公園 (中野区本町)	本校に一番近い公園で、季節の草花や生き物の観察を行う。見つけた草花で草相撲などの遊びを体験する。
●生活	たのしいあきいっぱい	蚕糸の森公園 (杉並区和田)	秋の草花や生き物を観察したり、木の実を拾ったりする活動を行う。集めた木の実は秋のおもちゃ作りに使用する。
○国語	たぬきの糸車	松本教材	本物の糸車を借り、その動き方や音、触り心地を感じる体験をする。その体験を通して、物語の情景を想像し易くする。

生活科 「きれいにさいてね」



■単元の目標

◎植物を継続的に栽培する活動を通して、きれいな花を咲かせたいという思いをもち、自分が育てている植物の変化や成長に気付き、植物への親しみをもつことができるようにする。

◎植物も生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、植物を育てることの良さを実感し、大切にすることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎アサガオを育てる活動では、植物を育てることの良さや生き物を大切に育てようとする態度を育むことができたが、気付きを交流するためには、さらなる工夫が必要である。

◎授業中だけではなく休み時間にも進んで水やりをして、植物に愛着をもって大切に育てる姿が見られた。



水やりをしながらアサガオが育つ様子を観察し、日々の変化をカードに記録してまとめた。



つるがどのくらい伸びたかや、花が咲いたときの感想を発表し、植物を育てることの良さを振り返ることができた。

生活科 「なつがやってきた」



■単元の目標

◎夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分たちの生活を楽しくしようとするようにする。

◎友達と交流し、互いの発見や思いを伝え合いながら、身近な自然を使った楽しい遊びを増やす方法を共に考えようとするようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎夏の遊び方を考え工夫して遊ぶ面白さに気付いたり、気付きを友達と共有したりすることができたが、共有したことを自分の生活にどのように生かしていくかまで見取っていく工夫が必要である。

◎グループ活動を取り入れたことにより、友達のやり方を見て工夫する姿が見られた。自分が発見したことや感じたことを言葉で伝え合う経験を積み重ね、協力・協同して活動する力を育てていく必要がある。



グリーンガーデンや公園へ行き、草花で遊んだり土遊びをしたりすることで友達と協力しながら遊ぶ良さを実感した。



様々な容器を使って水遊びをし、ペットボトルの穴の数や押し方をどのように工夫したらよいか、考えを交流することができた。

生活科 「いきものと なかよし」



■単元の目標

◎身近な生き物を探したり観察したりする活動を通して、それらの育つ場所や、変化の様子に関心をもって働きかけ、生き物への親しみをもち、大切にしようとするようにする。

◎身近な場所にある草花や生き物を知り、それらは生命をもっていることに気付くとともに、それらを大切にしようとするようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎様々な生き物を見付け、タブレット端末で写真を撮りながら細かく観察し、絵に描いたり生き物の名前を調べたりと意欲的に取り組むことができたが、発見を互いに伝え合って学び合うには、積み重ねが必要である。

◎グリーンガーデンなどで見付けた生き物を写真や観察カードなどで友達と共有することができた。生き物を捕まえて飼うことの意味や課題にも目を向けさせる指導が必要である。



グリーンガーデンで見付けたバッタやカマキリなどの生き物を、タブレット端末で記録し、友達と見せ合うことを楽しんだ。



昆虫を見付けると、友達に教えてあげていた。昆虫がいる場所の色と体の色が似ていることに気が付いた。

第2学年の取組

目指す児童像

自然や地域に関心を持ち、自分たちの生活を支えてくれる人の存在に気付ける子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
国語	春がいつばい 今日のできごと	かんざつ名人になろう	こんなもの見つけたよ	夏がいつばい あったらいいなこんなもの	本はともだち お気に入りしょうかいしよう	ことばでみちあんない	お手紙 秋がいつばい	そうだんにのってください おもいの作方をせめいよう	馬のおもちやの作り方	お話のさくしやになろう	おにごっこ	楽しかったよ二年生	スーホの白い馬	すてきなどころをつたえよう
算数		長さをはかって表そう												
生活	ぐんぐんそだてわたしの野さい 春だ 今日から 2年生	どきどきわくわく まちたんけん	ぐんぐんそだてわたしの野さい 生きものなかよし 大作せん	うごくうごく わたしのおもちゃ	ぐんぐんそだてわたしの野さい もっとなかよし まちたんけん	つながる ひろがる わたしの生活	あしたへジャンプ							
音楽														
図画工作		はたらく 消防の 写生会												
体育														
道徳科	くまくんの たからもの		げんきに そだて ミニトマト	たんじょう日	まいごになった 赤ちゃんくら		ながい ながい うがくろ	ぼく	じぶん がしんご うきに	学びゆう えんのさ つまいも	ぼくは のび太 でした			

【外部人材・地域資源リスト】 ●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●生活	どきどきわくわく まちたんけん	宮の台児童館館長・職員	児童館の工夫を教してもらい、自分たちが今後どのように児童館を利用していけばよいか考え、発表する。
●生活	もっとなかよし まちたんけん	鍋横商店街の商店で働く方たち	まちのお店の人にインタビューをし、工夫を教えてもらうことを通して、まちの工夫に気付く。
●生活	つながるひろがる わたしの生活	鍋横商店街の商店で働く方たち	まちのお店から学んだことや気付いたことをまとめ、自分たちがこれからどのように過ごしていくのかを地域の人に発表する。

生活科 「ぐんぐんそだてわたしの野さい」



■単元の目標

◎野菜を栽培し収穫する活動を通して、アサガオを育てた経験を基に、野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとすることができるようにする。

◎自分が世話を工夫したことと野菜が大きく成長したことに気付くとともに、植物を育てることの良さを実感し、これからも継続的に生き物と関わろうとすることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度 批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎野菜を育てる活動を通して、成長の喜びや働きかけの必要性を実感し、植物を大切にしようとする態度を育むことができた。

◎活動を通して野菜が育つまでにもたくさんの工夫があることを知ることができたが、その知識を実生活に生かすためには食育につなげていくなど、さらなる工夫が必要である。



タブレット端末を活用し、日々、成長の様子を写真で撮りながら観察し、ミニトマトが育つ様子の変化を記録してまとめた。



ミニトマトがどのくらい採れたかや、収穫したミニトマトを食べた感想を書き、植物を育てることの良さを振り返ることができた。

生活科 「どきどきわくわくまちたんけん」



■単元の目標

◎地域の様々な場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを見付け、地域には様々な場所があり様々な人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみを持ち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとするすることができるようにする。

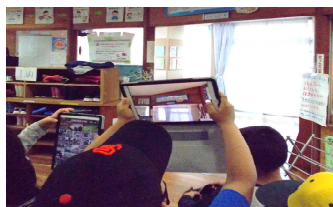
◎公共物や公共施設の利用を通して、それらの良さを感ぜたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとするすることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度 批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎地域には様々な工夫があり、公共施設をよりよく使っていこうとする態度が身に付いた。

◎地域の場所についての思いや考えをもつことはできたが、それを的確に表現する力を育てる必要がある。



児童館に行き、楽しめる工夫や安全な工夫などの視点で見学して、見つけた工夫をタブレット端末で撮影した。次時でどんな工夫を見つけたかを共有した。



児童館の職員の方に質問したり、職員の方の思いを聞いたりして、安全に楽しく利用しようという意識を高めることができた。

生活科 「うごく うごく わたしのおもちゃ」



■単元の目標

◎身近にある物で動くおもちゃをつくり、改良をしたり遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

◎身近な物を再利用しておもちゃをつくる活動を通して、おもちゃが動く仕組みやエネルギーに興味を持ち、環境にやさしいものづくりについて考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度 批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎工夫しておもちゃをつくることは意欲的にできたが、それを活用してみんなで楽しみながら遊びを創り出すためには、児童が遊びを創り出したいと考えるような場の設定をさらに考えていく必要がある。

◎使用済みの身近な物にも違う活用の仕方があることを知り、物を生かすことに関心をもたせることができた。今後おもちゃが動く仕組みと再生可能エネルギーの関係に気付かせていきたい。



自分たちが作りたいおもちゃをグループごとに分かれて、どのようにしたら動くか仕組みを考えながら協力して作った。



作ったおもちゃがどうしたらもっとよく動くかをグループ毎に考え、それぞれ工夫をして、おもちゃを改良した。

第3学年の取組

目指す児童像

地域の役割や身近な課題を理解し、自分たちにできることを考えられる子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語			仕事のくふうを見つけたよ	登場人物のへんかに気をつけて読み、感想を書こう	はじめて知ったことを知らせよう	読書感想文を書こう	場面のうつりかわりとめをとらえて感想をまとめよう	場面をくぐらべながら読み、感じたことをまとめよう	をいくつか書いて読み、それをいかにして書こう	組立てをとらえて民話をしようかしよう	つたわる言葉で表そう
社会	わたしたちのまちみんなのまち ①中野区の様子		はたらく人とわたしたちの暮らし ①農家の仕事		はたらく人とわたしたちの暮らし ②店ではたらく人		事故や事件からくらしを守る	くらしをまもる① 火事からくらしを守る		市のようなうつりかわり ①中野区のうつりかわりと人々のくらし	
算数											
理科	しぜんのかんさつ		植物の育ち方	昆虫の育ち方	動物のすみか						
総合			命の誕生を見守ろう								
			オリンピック・パラリンピックから学ぼう								
音楽				遊び歌めぐり							
図画工作											
体育											
外国語活動	Unit 1 Hello! あいさつをして 友だちになろう										
道徳科			ツバメのあかちゃん			ごみステーション					

【外部人材・地域資源リスト】●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●社会	店ではたらく人	サミット鍋横店 店長	お店の仕事について話を聞く
●社会	農家の仕事	松本農園（中野区大和町） JA 東京中央担当者様	農家の仕事について話を聞く
●社会	火事からくらしを守る	中野消防署、消防団	消防の仕事について話を聞く
●社会	事故や事件からくらしを守る	中野警察署	警察の仕事について話を聞く
●社会	中野区のうつりかわりと人々のくらし	中野歴史民俗資料館	中野区の歴史について学ぶ
○図工	からくり屏風づくり	東京都職業能力開発協会	職人の指導で表装体験をする
●総合	人にやさしい街を目指して	宮里町会、鍋横町会の方々	町会の役割について話を聞く

社会科 「はたらく人とわたしたちの暮らし」



■単元の目標

◎農家の仕事について見学、調査することを通して、仕事の内容について理解し、働く人の工夫や努力、農業に対する思いなどについて具体的に考えることができる。

◎農家の方の努力や願いを調べる活動を通して、野菜作りを通して食料生産を支え、地域にも貢献していることに気づき、自分たちも地域の一員として地域のためにできることを考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎農家や農協の方から直接話を聞き、思いの強さや農業に対する熱意を感じることができた。自分たちの暮らしを支えている仕事に関心を持ち、もっと知りたい、伝えたいという意欲につながった。

◎農家の仕事や工夫、努力について理解することはできたが、区内で数少ない農家を続けている思いを持続可能な地域社会の構築につなげて考えさせるためには、更に複数の事例を学習していく必要がある。



事前学習を生かして、農家の方々に質問した。実際にインタビューしないと分からないことを中心に質問した。



実際に調べたり、インタビューしたりして分かったことや、心に残ったことなど、みんなに伝えたいことを決めて、新聞にまとめた。

国語科 「ちいちゃんのかげおくり」



■単元の目標

◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。

◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎ICTを利用して自分の考えを出し合い、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結びつけて具体的に想像できた。それにより、多様な価値を見出したり、違いに気付いたりできた。

◎多様な意見を出し合うことができ、違いに気付くことができたので、自分たちの生活場面でも同様に多様性に理解が深まるようにしていきたい。



付箋を使って意見を交流し、比較、分類することで登場人物に対する様々な考え方があつたことに気付いた。



オンライン学習システムを使うことで、グループやクラス全体での意見交流が活発になり、学習をより深めることができた。

総合的な学習の時間 「人にやさしいまちを目指して」



■単元の目標

◎学区よりも狭い、自分の住む町会というエリアについて調べることで、地域の特色について理解し、そこに住む人々の生活やそれを支える仕組みなどについて考え、適切に表現することができる。

◎自分で地域のことを調べたり、地域の方の話を聞いたり、友達と協力して学習をまとめたりすることを通して、自分たちの住む地域に関心を持ち、地域の一員として地域を大切にできるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎町会組織に所属する保護者の話を聞いたり、自宅周辺の写真を撮って伝え合ったりする活動を通して、地域の特色や地域を支える町会の働きに関心を持ち、地域について調べる意欲を高めることができた。

◎自分たちが住む町会には多くの人が関わって成り立っていることを理解できたが、自分たちがどのように関わっていくか考えさせるには、さらなる手立ての工夫が必要である。



写真を見せ合ったり、自分の家の場所を確認したりして、毎日生活している場所でも知らないことがあることを実感した。



活動グループを町会で分け、エリアマップを作成した。タブレット端末を活用して画像の共有や意見の交流を行った。

第4学年の取組

目指す児童像

地域の役割や身近な課題を理解し、自分たちにできることを考えられる子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語		漢字辞典の使い方 こころ 大事なことを考えながら聞 き発表しよう 筆者の考えをとらえて、自分の考 えを発表しよう	気持ちの伝わる手紙を書こう 場面の様子をくわべて読み、 感想を書こう	事実を分かりやすくほこ くしよう 事実をもとについて書かれた本 を読もう		役割をいしきしながら話し 合おう	中心となる語や文を見つけて 要約し、調べたことを書こう 受けつがれら る「くく み祭り」	登場人物の変化を中心に読 み、物語をしようかいしよう 詩を書こう 心の動きを言葉にして、 詩を書こう	詩の楽しみ方を見つけよう きょうみをもったことを中心 に、しようかいしよう	言葉について考えよう 考えたことを書き、読み合 おう	調べて分かったことを話 そう
社会		水はどこから	ごみのしよりと 再利用	水害から くらしを守る	江戸の文化を 伝える浅草			とどけよう命の水 玉川上水と玉川兄弟	染め物の さかんな 新宿区		世界とつな がる大田区
算数	グラフや表 を使って調べよう										
理科	季節と生物 ・春		季節と生物 ・夏	季節と生物 ・夏の 終わり	雨水のゆくえ		季節と生物 ・冬	季節と生物 ・冬		季節と生物	
総合		調べて、育てよう			ごみゼロ大作戦						
		オリンピック・パラリンピックから学ぼう							人にやさしい街を目指して ～まちのユニバーサルデザイン～		
音楽											
図画工作											
体育											
外国語活動	世界の色々な 挨拶の仕方								This is my day		
道徳科					「ふれあいの 森」で						点字メニュー にちょうせん

【外部人材・地域資源リスト】●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●社会	水はどこから	東京都水道局 水道キャラバン	水道水が私たちに届くまでの話と 濾過実験
●社会	ごみのしよりと再利用	中野区清掃事務局 中野区ごみゼロ推進課	清掃車のしくみと働きを見る ごみ問題、ごみを減らす取組につ いての講話
●社会	水害からくらしを守る	環状七号線地下調節池	下水道管の見学
○外国語活動	This is my day	東京グローバルゲートウェイ	コミュニケーション体験
○図工	おかしのパッケージデザイン	東京都職業能力開発協会	ITを活用したパッケージデザイン体験
●総合	調べて、育てよう	中野環境市民の会	中野・八房系唐辛子の栽培指導

社会科 「ごみの処理と再利用」



事前研指導案



■単元の目標

◎廃棄物を処理する事業について、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、地域の人々の生活環境の維持と向上を支えていることを理解することができる。

◎主体的に学習問題を追究・解決することを通して、学習したことを基に廃棄物の減量のために自分たちができることを考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎清掃工場の動画資料や中野区が作成するリーフレットの活用によって、ごみの処理や再利用されるまでの流れを具体的に確かむことができた。

◎ごみゼロ推進課の方々の話によって、現在のごみ問題について理解が深まった。しかし、実際の自分の生活に対する切実感をもたせるには、外部人材の活用だけでなく問いかけなど工夫が必要であった。



ごみゼロ推進課の方からごみ問題について写真資料などを交えて話を聞くことで、ごみ問題に対しての取組への関心を高めた。



ごみを減らすために自分ができることを3Rの観点で考えたり、インターネットを活用して調べたりした。

総合的な学習の時間 「オリンピック・パラリンピックから学ぼう」



■単元の目標

◎オリンピック・パラリンピック大会の位置付けや歴史、パラリンピックスポーツの種類、スポーツの多様性などについて調べ、分かったことや感じたことを整理してまとめ、表現することができる。

◎オリンピック・パラリンピックが「平和の祭典」と言われることの意味について、世界の平和や人類の平等という観点から現状を知って話し合い、自分なりの考えをもつことができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎パラリンピックの理念や歴史についての理解を深めることができた。また、ボッチャを実際に体験することにより、パラリンピックをより身近に感じる事ができた。

◎観戦を通して選手の活躍や頑張りを目が行きがちな中で、「平和」「平等」という視点で選手の背景にある国の違いや差に目を向けさせるためには、丁寧な事前学習・事後学習が必要である。



パラリンピックについて分かったことや考えたことをみんなの前で発表し、情報を共有した。



ゲストティーチャーを招き、実際にボッチャを体験し、みんなで楽しんだ。

総合的な学習の時間 「調べて、育てよう」



■単元の目標

◎江戸東京野菜「中野・八房系唐辛子」を栽培し活用する活動を通して、食料生活に関わる人々の努力や工夫、地域の特色に気づき、調べたり体験したりしたことをまとめ、表現することができる。

◎「中野・八房系唐辛子」の特色や良さを家族や地域の人に伝え、地域の一員としてふるさとを大切にしようとする気持ちをもつことができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

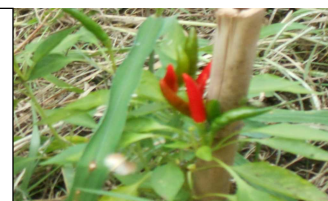
■成果と課題

◎中野で育てられてきたという「中野・八房系唐辛子」の歴史を調べ、実際に栽培することによって、人々の努力や工夫を知ることができた。

◎「中野・八房系唐辛子」について分かったことを家族や地域の人に伝えたり、料理に使う計画を立てたりする活動を通して、地域の伝統や良さに気付くことができた。



ゲストティーチャーを招き、「中野・八房系唐辛子」の簡単な歴史について教えていただいた。その後みんなで苗を植えた。



「中野・八房系唐辛子」の実った様子を観察したり、江戸野菜についてインターネットで調べたりした。

第5学年の取組

目指す児童像

地域社会の一員であることを自覚し、現代の様々な課題について自ら考え、その解決策を実践できる子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	こなそう 図書館を使い		引用に応じて 目的に応じて	みんなが過ご しやすい町へ		よりよい学校 生活のために	統計資料の読み方 グラフや表を用い て書こう	固有名が教えてく れこと パンマンの勇気	あなたは どう考える	伝える表現 を選ぼう	提案しよう、 言葉とわた したち
社会	国土の地 形と気候 の概要	低い／高 い土地の 暮らし	暖かい／ 寒い土地 の暮らし	くらしを ささえる 食料生産	米作りの さかんな 地域	水産業の さかんな 地域				自然を 災害防 護	わたした ちの生活 と森林
算数											環境を守る わたしたち
理科	植物の発芽 と生長			台風と防災	植物の実や種 子のでき方	流れる水のは たらきと土地 の変化					人のたんじょう
総合	調べて、育てよう ～米米大作戦～										
	オリンピック・パラリンピックから学ぼう					わたしたちのまち再発見～街の良さを知ろう 伝えよう～					
音楽				音楽の旅		和太鼓の みりよく					
図画工作											
家庭							食べて 元気に			いっしょに ほっとタイム	
体育											
外国語									地域のおす めを紹介 しよう		「日本のす てき」を紹介 しよう
道徳科			ノンステッ プバスので きこと			オーストラ リアで学ん だこと					

【外部人材・地域資源リスト】●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●総合	調べて、育てよう～米米大作戦～	お米の学校 臼井 隆 先生	稲の栽培指導
○社会	自動車をつくる工業	スバル オンライン工場見学	車体の生産工程見学
●社会	水産業のさかんな地域	愛南町漁業組合	養殖漁業の工夫の資料提供
●社会	わたしたちの生活と森林	高尾ふれあい森林推進センター	森林の役割の講話、間伐体験
○図工	こて絵を体験しよう	東京都職業能力開発協会	左官職人の指導で、こて絵体験をする
●音楽	和太鼓のみりよく	和太鼓「暁」	豊年太鼓の演奏体験と鑑賞
●総合	わたしたちのまち再発見～まちの良さを知ろう 伝えよう～	「なべよこ観察隊」能津 恵子さん	地域の歴史、変遷の講話

総合的な学習の時間 「調べて、そだてよう」



■単元の目標

◎米作りの体験を通して農家の方の知恵や田んぼの役割を知ること、米作りに関わる人々の工夫や努力に気づき、調べたことや体験したことをまとめ、表現することができる。

◎米の栽培・収穫・わら細工作りの体験を通して、生産者の工夫や努力、自分たちの生活と米の関わり等について理解し、食料生産の課題や自然環境の大切さについて調べ、考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎農家の方をゲストティーチャーに招き、種籾から稲を育てたり、実際に農家でしている栽培の工夫を体験したりすることで、主体的に作物に関わり共に、農家の苦労や工夫を実感することができた。

◎調べたり体験したりしたことを食料生産を、支える人々の苦労や自然環境問題、食品ロス問題等を自分事として考えさせる学習へと発展させるために、展開を工夫する必要がある。

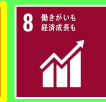


校内の自然教材園の水田に田起こしをすることから始め、自ら作物を育てて収穫する苦労と喜びを感じることができた。



ゲストティーチャーより、種籾の選別から米作りの指導を受けることで、農家の工夫や努力を実感することができた。

社会科 「水産業のさかなな地域」



■単元の目標

◎我が国の水産業について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、水産業に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きについて考えることができる。

◎水産業に関わる人々が食料生産を支えていることを理解するとともに、水産業の課題や自然環境の大切さについて主体的に学習問題を追究・解決しようとすることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎単元導入時に SDGs の視点をもたせることで、児童が生産量の変化や漁業の特徴に興味関心をもち、主体的に学習計画を立てることができた。

◎水産業に関わる人々の努力や工夫について理解することができたが、食料自給率の低下に関する課題に切実さをもたせることが難しかった。問題がより身近に感じられるように資料提示や発問を工夫する必要がある。



実際に漁港で仕分けやせり等をしている様子を映像で観ることで、魚が食卓に届くまでの過程を知ることができた。



つくり育てる漁業について調べる事で、水産資源を守るための工夫について考えた。

総合的な学習の時間 「わたしたちのまち再発見」



■単元の目標

◎地域の歴史や行事、働きについて調べる活動を通して、自分たちの生活が地域と関わっていることに気づき、地域の良さや特色について考え、地域の一員としての自覚をもつことができる。

◎地域の良さや特色について調べる活動を通して自分たちが暮らす地域に愛着をもち、地域の一員として協力して地域を支えていくために、自分にできることを考え、実践しようとすることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎ゲストティーチャーに自分たちの発表を聞いてもらい、それに対する感想やより詳しい話を聞くことで、自分たちの住んでいる地域への愛着を高め、主体的にその後の学習課題をもつことができた。

◎地域の良さや特色を発見して地域への関心や愛着を高め、発信することができた。さらに地域の一員として自分たちにできることを考え実践していくためには、地域の人々との関わりを進めていく必要がある。



ゲストティーチャーの話を聞くことで、調べた資料にはない、地域についてより詳しい知識を得ることができた。



タブレット端末を活用することで、グループでスライド作成を効率的に進めることができた。

第6学年の取組

目指す児童像

地域社会の一員であることを自覚し、現代の様々な課題について自ら考え、その解決策を実践できる子

【令和3年度版 ESD カレンダー】

人にやさしい

自然にやさしい

学習スキル

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	深聞 めいて よう考 えを	文の 組み 立て	伝を情 えつ報 なと情 て報		で私 たち に こと	書分 のと 品の 考の ええ を界	たし めく んに 過な ごで す楽	話方 社し に会 つと 生 き て			今、 ぼく は、
社会	環境 を守 るわ たし たち	わた した ちの くらし と日 本国 憲法	国の 政治 のし くみ と選 挙	震災 復興 の願 いを 実現 する 政治	日本 とつ なが りの 深い 国々	世界 の未 来と 日本 の役 割		長く 続い た戦 争と 人々 のく らし			
算数											
理科		私た ちの 生活 と環 境	植物 の成 長と 日光 のか かわ り	生物 どう しの かか わり						生物 と地 球環 境	
総合		調べ て、 育て よう				わた した ちの まち 再発 見～ まち の未 来を 見据 えて～					
音楽						オリ ンピ ック ・パ ラリ ンピ ック から 学ば う		私た ちの 国 の音 楽			
図画工作											
家庭			でき るこ とを 増や して クッ キン グ	クリ ーン 大作 戦			献立 を工 夫し て	共に 生き る地 域で の生 活	持続 可能 な社 会を 生き る		
体育											
外国語					外国 の人 にメ ッセ ージ を伝 えよう		世界 と自 分の つな がり を紹 介し よう				
道徳科		愛華 さん から のメ ッセ ージ								タマ ゾン 川	

【外部人材・地域資源リスト】●人にやさしい ●自然にやさしい ○その他

教科等	単元名・題材名	外部人材・地域資源等	内容
●社会	震災復興の願いを実現する政治	中野区役所防災危機管理課 酒井 敦さん 元国土交通省研究員 加藤 拓磨さん	震災直後の様子についての講話 震災復興の取組についての講話
●社会	長く続いた戦争と人々の暮らし	特定非営利活動法人原爆先生	原爆体験の講話
●総合	わたしたちのまち再発見 ～まちの未来を見据えて～	中野区役所公園緑地課 中澤 梢さん 中野区役所まちづくり計画課 上村 明花さん 中野区役所まちづくり計画課 山下 昇亮さん	本五ふれあい公園についての講話 まちづくりについての講話
●総合	オリンピック・パラリンピックから学ぼう	Sister School Project	バングラディッシュとの交流
●音楽	私たちの国の音楽	一般社団法人 伶楽舎	雅楽の楽器体験・演奏鑑賞
○図工	石印づくり	東京都印章技能士会	職人の指導で印章彫刻体験をする

社会科 「震災復興の願いを実現する政治」



■単元目標

◎我が国の政治の働きについて、国や地方公共団体の政治の取組を捉え、政治は国民主権の考え方の下、安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解し、主体的に学習問題を解決しようとする態度を養う。
 ◎自分たちが暮らす地域に対して愛着や誇りをもち、住み続けたいと思えるまちづくりに将来貢献できる資質・能力を身に付けるため、地域の良さや特徴を調べ、その未来像を考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎被災地支援に携わった中野区役所職員の方から当時の状況を聞き、学習意欲が高まった。総合的な学習の時間や各教科で学んだことの関係性を分かりやすく示せるような実践を進めていく必要がある。

◎補助資料の動画内容に衝撃を受けながらも、被災した人々の住み続けたい思いに触れることができた。政治を知り、将来貢献できる資質・能力を身に付けるためにより切実感をもたせる工夫をする必要がある。



中野区役所職員の方が実際に目にした被災地の状況を生の言葉として聞き、震災の恐ろしさを実感した。



震災直後の写真と10年後とを比較し、10年の間に誰がどのようにして復興したのか考え、次の学習への疑問を出した。

理科 「植物の成長と日光の関わり」



■単元目標

◎植物の体のつくりと葉で養分をつくる働きに着目し、生命を維持する働きを多面的に調べる活動を通して植物の体のつくりと働きについて理解を図る。

◎植物と自然の関係に関心をもち、進んで観察や実験に取り組み、調べる活動を通して、生き物の生命を尊重する態度を養うとともに、生き物にとってより良い自然環境について考えることができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

■成果と課題

◎第5学年の学習から、生命を維持するために植物の体には何が必要か疑問をもって学習を始めることができた。植物の体のつくりと働きを個々でまとめ少人数で説明し合うなど、対話的な学びも取り入れたい。

◎実験を通して植物の成長と自然環境の関わりについて理解することができた。観察や実験から得た知識を地球全体の自然環境問題に結び付けて考えていく視点をもたせ、SDGsへの意識を高めたい。



植物の体のつくりを観察しながら、根や葉の働きについて予想したり、日光との関わりについて考えたりした。



5年生の時に植えたジャガイモを使用して、植物が生命を維持するために行っている働きについて学習し、最後には収穫した。

道徳科 「愛華さんからのメッセージ」



■単元目標

◎空気や水など、人間は自然からさまざまな恩恵を受けているが、現状は世界中で環境汚染が報告されていることを知り、自分事として捉え行動した少女の人生に自我関与して考えようとする態度を養う。

◎環境問題や環境保全の取組に目を向けて、自分にできることを考えて、実践していこうとする態度を養うことができるようにする。

■本単元でねらう ESD の能力・態度

批判 未来 多面 伝達 協力 関連 参加

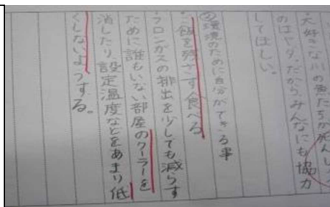
■成果と課題

◎身近な問題から、日本や世界の問題まで、いろいろな角度から触れたことで自分事として捉えながら考えることができた。資料をいくつも提示せず、児童の実態に合わせて精選しておく必要がある。

◎自分にできることを考える際、エコバッグを使うなど具体的な活動だけでなく、環境問題を正しく理解することの必要性を感じる児童がいた。より考えを深めたり広げたりする時間を後半に設ける必要がある。



12歳という若さで命を落とした坪田愛華さんの遺言とも言える内容を読み、残っていた漫画を読んで思いを感じ取った。



環境問題の現状を知り、自分にできることは何か考え、お互いに実践しようと思うことについて伝え合った。

研究の成果と課題

研究の視点① SDGs の視点に立った単元開発

SDGs の視点を取り入れて学習したり掲示物を作成したりすることで、自分たちの学習や様々な課題を SDGs の視点で捉え、「人にやさしい」「自然にやさしい」具体的な行動をイメージし、言葉に表すことのできる児童が増えた。各学年の学習内容と SDGs との関係を吟味し、教師が明確な見通しを持ってカリキュラム・マネジメントや授業づくりを進めることで、児童のさらなる行動変容を生み出すことができると考える。

研究の視点② 外部人材・地域資源等の活用

地域の方々から実際に話を聞くことを通して、それぞれの方が地域の中で果たす役割を理解し、自分の生活を身近で支えてくれる人の存在に気付ける児童が増えた。また、こうした地域の方々の言葉により、児童が身の回りの課題を自分事として捉え、学習への意欲を高めることができた。令和 3 年度の前期と後期の意識調査を比較すると「自分の住んでいる地域のことをもっと知りたい」と思う児童の割合がどの学年も増加傾向にあり、特に3、4、5年生は約 30%増加している。今後、学習をより深めるためには、学習のねらいに沿った外部人材の活用をできるよう、事前の打ち合わせや授業コーディネートを充分に行う必要がある。

研究の視点③ 問題解決的な学習の実践

単元の導入を工夫し、児童の学習意欲を高める（学びに火をつける）ことで、様々な課題を自分事として捉え、単元を通して高い意欲をもって学習に取り組む児童が増えた。またタブレット端末を積極的に活用することで、調べ学習や意見交流を活発にできるようになり、主体的に問題解決する姿が多く見られるようになった。追求したり考えたりした ことを自信をもって分かりやすく伝えようとする点については課題が残るため、今後の積み重ねが重要だと考える。

御指導いただいた先生方

前江東区立八名川小学校校長	手島 利夫 先生	江東区立八名川小学校校長	澤田 純二 先生
東京学芸大学講師	清水 一豊 先生	前中野区立谷戸小学校校長	次岡 孝幸 先生
こども国連環境会議推進協会事務局長	井澤 友郭 先生	前中野区立中野本郷小学校校長	橋浦 義之 先生

研究に携わった教職員

校長	柳 沢 晶 子	副校長	奥 田 正 朋		
1 年	○外 山 典 子	5 年	○日 置 誠	けやきルーム	小 池 雄 逸
	國 本 真 子		岸 七 恵	(巡回指導)	高 橋 久 美 子
2 年	○坪 村 悠 太	6 年	長 崎 亮		井 上 永 子
	松 本 啓 吾		○竹ノ内由香子		倉 脇 麻 友
3 年	◎神 川 達 也	少人数指導	徳 永 圭 子		武 藤 亜 季
	宮 川 依 子	音楽	○小 田 康 介		村 山 夏 海
4 年	岡 崎 浩 子	図工	進 藤 麻 子		松 沼 麻 衣 子 (育代)
	○大 口 高 史	養護	明 比 美 和	任期付短時間勤務教員	染 谷 華 奈 子

◎は研究主任、○は研究推進委員

<令和元・2 年度>

田 端 国 弘 (副校長)

有賀 三輪子	梅木 真由美	小 田 明 子	武 田 新 (産休)	清 水 啓 太 (産代)
古 川 初 音	古 川 恭 子	三 羽 聡 明	柳 有 佳	坂 上 恵 理 (育休中)